



平成 20 年 4 月 30 日

各 位

会社名 新 電 元 工 業 株 式 会 社
 代表者名 代表取締役社長 小田 孝次郎
 (コード番号 6844 東証第 1 部)
 問合せ先 経営企画室企画部長 田中 信吉
 (TEL. 03 - 3279 - 4431)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 20 年 2 月 8 日に公表いたしました平成 20 年 3 月期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期 連結業績予想の修正

通期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)の連結業績予想

(単位:百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想(A)	98,700	400	2,800	3,000
今 回 修 正 予 想(B)	100,800	2,300	2,100	2,700
増 減 額(B-A)	2,100	2,700	700	300
増 減 率(%)	2.1	-	-	-
(ご参考) 前期実績	102,054	6,051	5,114	2,646

2. 平成 20 年 3 月期 個別業績予想の修正

通期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)の個別業績予想

(単位:百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想(A)	91,100	1,800	1,600	1,000
今 回 修 正 予 想(B)	91,800	100	1,600	1,500
増 減 額(B-A)	700	1,900	-	500
増 減 率(%)	0.8	-	-	-
(ご参考) 前期実績	91,582	2,162	3,266	1,651

3. 修正理由

前回修正発表時(平成 20 年 2 月 8 日)には、半導体製品がデジタル家電市況軟化や価格競争激化に伴う落ち込みを見込んでおりましたが、アジアを中心に薄型TVやゲーム機向けが想定以上に健闘したほか、電装製品においても、二輪車市場の一部地域で需要が予想を上回り、増収となる見通しであります。

営業損益におきましては、増収による稼働率改善などの増益効果に加え、原価で見込んでいたたな卸資産除却損を営業外費用に計上したことなどにより、黒字を確保する見込みであります。

一方、経常損失および当期純損失は、上述のたな卸資産除却損の計上や為替差損および投資有価証券評価損の拡大など営業外費用が増加したことにより小幅な改善にとどまる見通しであります。

なお、期末配当金につきましては、利益配分に関する基本方針に基づき中長期的な業績動向を踏まえ、前回修正発表のとおり1株当たり3円50銭（年間7円）とさせていただく予定であります。

上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想値と異なる可能性があることにご留意ください。

以上